

## 第 28 回有機結晶シンポジウム開催報告

香川大学創造工学部 舟橋正浩、磯田恭佑

2019年11月9日（土）および10日（日）に香川大学創造工学部（林町キャンパス）にて、第28回有機結晶シンポジウムを開催しました。前日の8日（金）の午後は、第5回有機結晶プレシンポジウムを同地で開催しました。舟橋のほか、現地実行委員として、先端マテリアル科学コースの上村忍准教授と磯田恭佑講師にも支援をいただき、無事シンポジウムを開催することができました。

シンポジウムの参加者総数は129名（一般68名、学生61名）、発表件数について、招待講演2件、口頭発表31件、ポスター発表59件でした。海を越えた（？）“海外開催”にもかかわらず、多数の方々にご参加くださり、実行委員会としては感謝の意に堪えません。招待講演には、東京工業大学名誉教授半那純一先生と愛媛大学大学院理工学研究科朝日剛先生をお願いいたしました。半那先生は、結晶に近い高次の秩序構造を有する高次の液晶相を活用した有機エレクトロニクス of 新しい展開についてお話しくださいました。液晶を利用して高品位の結晶性薄膜を作製し有機エレクトロニクスデバイスへ応用しようというもので、結晶の世界とソフトマターの世界の橋渡しとなる内容でした。朝日先生は有機ナノ結晶の作製方法、光物性、および反応性についてお話しくださいました。有機ナノ粒子における特徴的な量子サイズ効果や光化学反応など、従来知られていなかったナノ結晶の新しいサイエンスの展開を予感させるものでした。今回は二日間の会期に多くの口頭講演を配置する必要があったため、招待講演は2件にとどめました。

口頭講演、ポスターセッションともに、質の高い発表が多く、非常に盛り上がりました。今回は優秀講演賞にエントリーされた方が多く、プログラムの編成には苦慮しましたが、その分レベルが高く、優秀講演賞の選考にもまた苦慮（うれしい悲鳴）するところとなりました。ポスターセッションについては、本キャンパスに適当なスペースがなく、会場の確保に頭を悩ませましたが、講演会場である大教室の前のスペースを活用することにしました。少々詰め込みすぎで参加者の皆様にご迷惑をおかけしたかもしれませんが、講演会場・ポスター会場・事務局をコンパクトに集約することができました。

懇親会は会場からは少し離れますが、JR高松駅に近いホテルパールガーデンで開催しました。会場からホテルへはバスで移動しました。特に渋滞に巻き込まれることもなく予定より早めに懇親会場につくことができ、ほっとしました。先生方のスピーチで盛り上がり、食事・酒類もおいしく、楽しい時間を過ごす事ができました。

前日のプレシンポジウムでは、若手研究者および学生を対象とし、招待講演3件を行い、その後、講演者を交えてパネルディスカッションを行いました。招待講演は、龍谷大学理工学部内田欣吾先生、東京工業大学大学院理工学研究科植草秀裕先生、香川大学創造工学部石井知彦先生をお願いしました。内田先生は、フォトリソミック結晶を利用した超撥水表面の光制御、中空結晶の作製と光機能について講演されました。結晶を使ってこんなこともできるのか、と非常に感銘を受けました。植草先生は、結晶データベースの活用法についてお話しされました。若手、特に学生にとって非常に有益な講演であったと思います。石井先生は香川大学独自の成果である希少糖の結晶構造解析について講演されました。何をするにしても、基礎的な構造解析を着実に進めることが極めて重要であると痛感しました。パネルディスカッションでは、有機結晶に興味を持ったきっかけや、有機結晶の今後の展開など、様々な話題に

ついて、講演者と会場の参加者で討論しました。司会者（舟橋）の運営がいささか強引であったかもしれませんが、何とか1時間充実した議論ができたと思います。

下記の方々が講演賞を受賞されました。最優秀講演賞・最優秀ポスター賞には英国化学会より、それぞれ、*CrystEngComm* Presentation Award と *CrystEngComm* Poster Award が授与されます。今回から、両賞については、英国化学会日本支部より浦上裕光様から直接賞状と副賞（海外旅行用のアダプター）が授与されました。

#### 最優秀講演賞・*CrystEngComm* Presentation Award

清水 和久（千葉大院工）「可逆的分子内 Michael 付加反応を伴うフラバノンの絶対不斉合成」

#### 優秀講演賞

道端 彩乃（北大院総化）「結晶架橋法による多面体高分子ゲルの精密サイズ制御と集合体形成」

#### 最優秀ポスター賞・*CrystEngComm* Poster Award

松尾 匠（奈良先端大）「メトキシ基とシアノ基で両末端置換した Thiophene phenylene co-oligomer の合成とキャラクター化」

#### 優秀ポスター賞

石崎 一輝（早大先進理工）「フォトメカニカル結晶の屈曲挙動の統計モデリング」

木村 一貴（九大院工）「D-A-D 型化合物の光機能特性：結晶化誘起発光とバイポーラクロミック特性の検討」

松原 未和（香大創造工）「偽造防止を志向した刺激応答型発光性液体の開発」



受賞者の集合写真と受賞式風景

今回より、日本化学会の方針に基づき、参加登録・参加費支払い手続きを外部業者に委託することになりました。幸いにして大きな混乱はなく、作業を進めることができました。従来のやり方に慣れておられた方は少し戸惑われたかもしれません。

最後にお詫びと感謝です。実行委員長（舟橋）が8月に突如としてギラン・バレー症候群で二か月入院することになり、急遽、磯田講師が実行委員長代行として、委員長不在の間シンポジウム準備業務を取り仕切りました。委員長入院中、部会役員の皆様にご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんでした。部会の役員、そして部会員の皆様のご支援により無事、本シンポジウムを開催できましたこと、心より感謝申し上げます。特に、部会長の赤染先生、前回実行委員長の今井先生、Web 担当の網本先生には大変お世話になりました。

次回となる第29回は阿波賀先生のお世話で名古屋大学にて開催される予定です。